

遠田 誠 Makoto ENDA

ダンサー／振付家、漆器づくりの家系に生まれ、プロダクトデザインを学ぶ一方、商店街ファンとして街のディティールに注目。デザインする上での俯瞰した視点とダンスの外様としての特異なアプローチから作品づくりを行う。日常のはざ間にダンスその他諸々を混在させる『まことクラヴ』、閉鎖空間でこそその表現の可能性を追求する『&ルフィン(エンドルフィン)』を主宰。作曲家・演出家・振付家・アーツマネージャーによるユニット『門限ズ』メンバー。2018年より、様々な街並みをダンスで紡いでいく『“街”ダンス(ガイダンス)』シリーズを展開。



連絡先(担当) 遠田誠

E-mail m45.end@gmail.com

在 住 地 東京都調布市

出 身 地 東京都品川区

Ⅰ 活動歴・受賞歴Ⅰ

○受賞歴

- 〈2005年〉東京コンペ#2にてダンスパザール大賞受賞。
- 〈2006年〉トヨタコレオグラフィアワードにてオーディエンス賞受賞。
- 〈2007年〉第1回日本ダンスフォーラム賞受賞。

Ⅱ ワークショップ歴Ⅱ

- 〈2002年〉水戸市民舞踊学校特別WS
- 〈2005年〉広島市での一般WS
- 〈2006年〉こまばアゴラ劇場での一般WS
- 〈2007年〉釜山大学内で子どもダンサーを対象としたWS
- 〈2008年〉京都市で身体性を意識しつつ高瀬川を掃除するWS
- 〈2008~12年〉東京造形大学メディア・デザイン科の学生を対象とした映像WS
- 〈2011年〉富山県高岡市での一般WS

- 〈2012年〉大島の小学校で学芸会の演劇作品中のダンスシーン及びステージングを指導
- 〈2014年〉信州大学人文学部ゼミ生を対象としたWS
- 〈2012~18年〉横浜市の小学三年生を対象としたWS
- 〈2019年〉横浜市の小学校特別支援クラスを対象としたWS
- 明治大学舞踊研究ゼミ生を対象としたWS
- 九州大学ソーシャルアートラボ『障害からひろがる表現とケア』WS

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

① 教師等対象

指導者を対象とし、生徒へ伝える身体への多角的なアプローチを共に学んでゆく。

② 社会人対象

仕事の合間や休憩時に会社内で簡単にいけるストレッチやリフレッシュ法などを伝授。

公募ワークショップ

① 小学生対象

身近なキーワードから即興で振付を生み出す方法を伝え、子ども達から生み出される動きを繋いだダンスを全員で踊る。

② 一般対象

様々なアプローチによって多角的に身体を捉えていき、柔軟で発想力豊かな心身を目指す。

③ 障がいを持つ方達対象

簡単な動きを交え、無理なく楽しくカラダを動かしていく。

◎実施条件(共通)

- ▶参加人数：10~30名
- ▶アシスタント：1名
- ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ※1コマ120分
- ▶必要機材：CDプレーヤー
- ▶場所：会議室から体育館まで対応可能
- ▶対象：小学生、大学生、社会人、軽度障がい者、ダンス経験不問

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

『断片集』

- ▶上演時間：30~60分
- ▶出演者数：4名(登録アーティスト+共演者3名)
- ▶スタッフ：未定
- ▶上演環境：形状、広さなど対応可能。
- ▶作品について：ある物語を語る男と、少人数で紡ぐダンスとが交錯し、混沌の果てへ向かうクロスジャンル作品。

市民参加作品

『福岡市現代美術館 Remix』

- ▶上演時間：約45分
- ▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名)
- ▶スタッフ：未定
- ▶上演環境：形状、広さなど対応可能。ピアノ使用(グランドピアノが望ましい)、椅子二脚(折りたたみ不可)。
- ▶作品について：作曲家・野村誠、ダンサー・高須賀千江子との作品。約2分×21のピアノ曲によるダンス。